

経緯及び現状

- 現行の日本の地上デジタルテレビジョン放送（以下、「地デジ」という）の規格で利用されている技術は約20年前のもの。一方、欧米の規格では新しい技術の採用が進んでいる状況。
- （現時点では地デジの高度化の導入に関する具体的な計画はないが、）放送技術の高度化に向けた取組は不可欠であるとの観点から、放送大学の地上放送跡地を実験・実証フィールドとして活用し、次世代の地デジの放送規格の策定に取り組んでいる状況。
- 現在、地デジの日本方式は日本を含め世界20ヶ国で採用されており、採用国（特にブラジル）から次世代の地デジの放送規格策定に連携して取り組みたいとの要請が来ているところ。

論点整理事項

- 次世代の地デジの放送技術規格の早期策定に向けて、当面の間、引き続き実験・実証フィールドとして活用する必要があるのではないか。
- また、電波のさらなる有効活用の観点から、上記の技術関連以外の実験・実証への活用の可能性についても、検討すべきではないか。